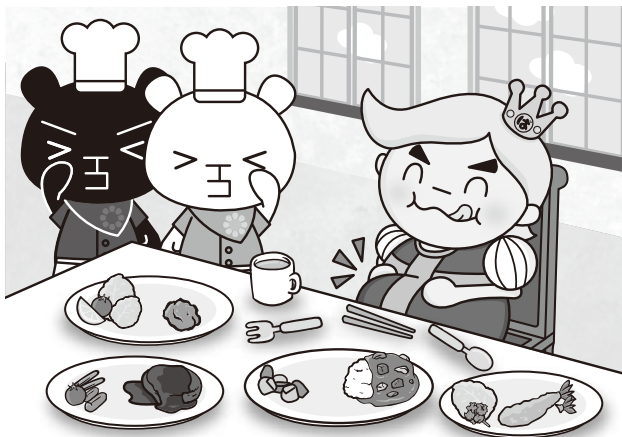


おうじ
ばっかり王子のこしま^{せんにん}仙人





語り

王子

語り

(2)

おつじなま す
王子様は、好きなものばかり食^たべて
嫌^{きら}いな食^たべ物はスミっこへポイ!

はーあ、お腹^{なか}いっぱい!

あとはいらなうい!

こころこ
心を込めて作^{つく}ったコックの

「ていたんとブラックていたん」は
残^{のこ}された料理^{りょうり}を見て、

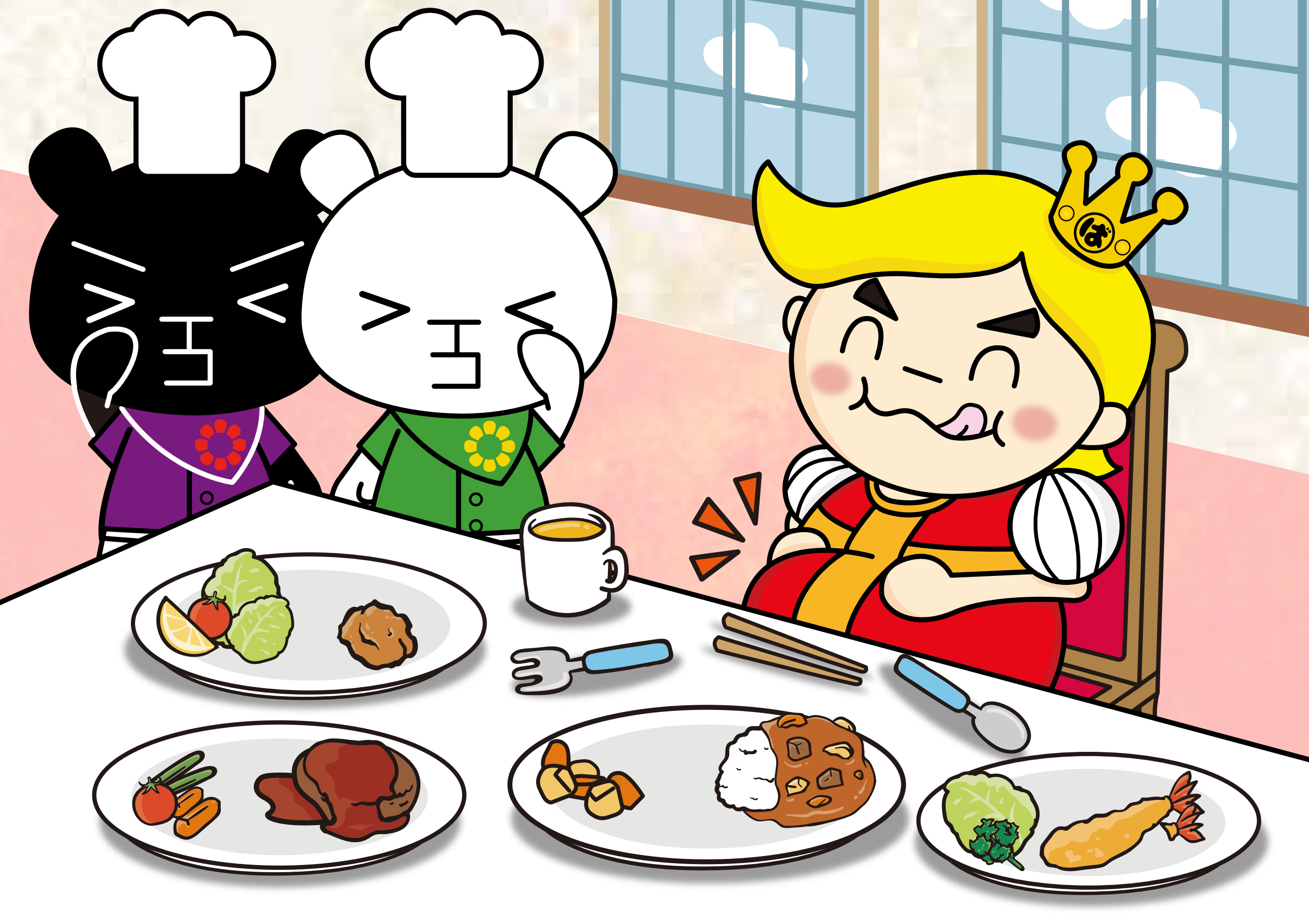
とっても悲^{かな}しい気持^{きも}ちになりました。

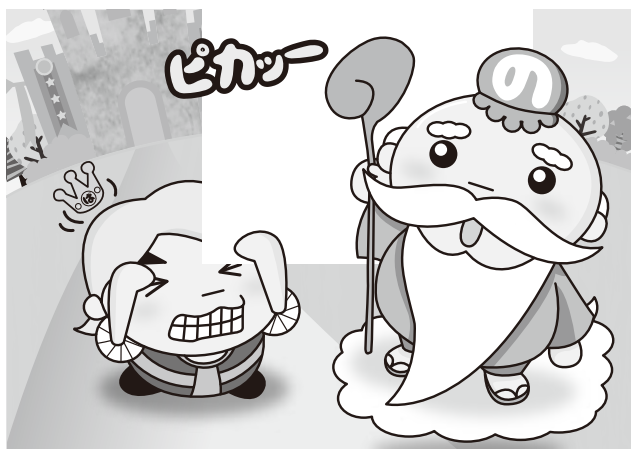
そこで困^{こま}った2人^{ふたり}は

もったいない事^{こと}が大嫌^{だいきら}いな

「のこしま仙人^{せんじん}」に相談^{そうだん}する事^{こと}にしました。

ぬく





(3)

話を聞いた「のこしま仙人」は、

どうして食べ物を残すのじゃ？

作った人もかわいそうじゃ・・・。

ふんだ！僕は王子だぞ！

好きな物ばかり食べて何が悪いんだ！

嫌いなものなんて食べたくないやい！

王子様はそう言って、

話をちっとも聞いてくれません。

困った仙人は「仕方が無い」と言い、

空に杖を振り上げました。

すると杖が「ピカッ」と光ったのです。

ま、まぶしい！

どんどん大きくなる光に

王子様はたまらず目を閉じてしまいました。

ぬく

演出の
ポイント

怒った様に

「仕方が無い」は
ため息を吐く様に

「ピカッ」は力強く



ピカッ



(4)

語り

王子様が目を開けると、
そこは小さな村でした。

王子

あれ？ここはどこだ？

語り

王子様が困っていると
村長さんがやってきました。

村長

おや？旅の方ですか？

私は「もったいない村」の村長、モッタと
言います。お困りのようですね。

どうぞ家にいらしゃい。

語り

そう言っ、王子様を家に案内しました。

村長

そうそう、ここには「もったいない事」が
大嫌いな怪獣「イナイターモ」が
住んでおります、

もったいない事をすると追いかけてきます。
気をつけてください。

王子

へっ、平気だい！

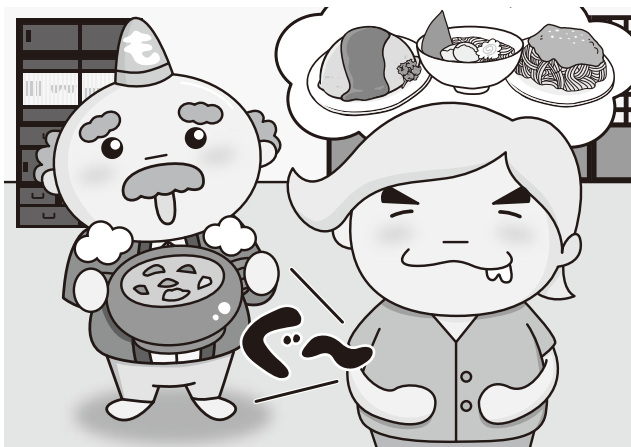
そんなもの僕がやっつけてやる！

語り

実は王子様は夜、ひとりでトイレにも
行けないほどの怖がりなのです。
さてさて、ほんとうに怖くないのでしょうか？

ぬく





語り

王子

村長

王子

語り

(5)

その夜、王子様はお腹がへってきて

モッタ村長！今日の晩ご飯は何だい？

オムライスかい？ラーメンかな？

いやいやスパゲティもいいな。

今日の晩御飯は、この村で取れた

特製の野菜のスープです。

おいしいですよ。

野菜スープ？

王子様は「がっかり」しました。

でも、お腹が空いていたので仕方なく

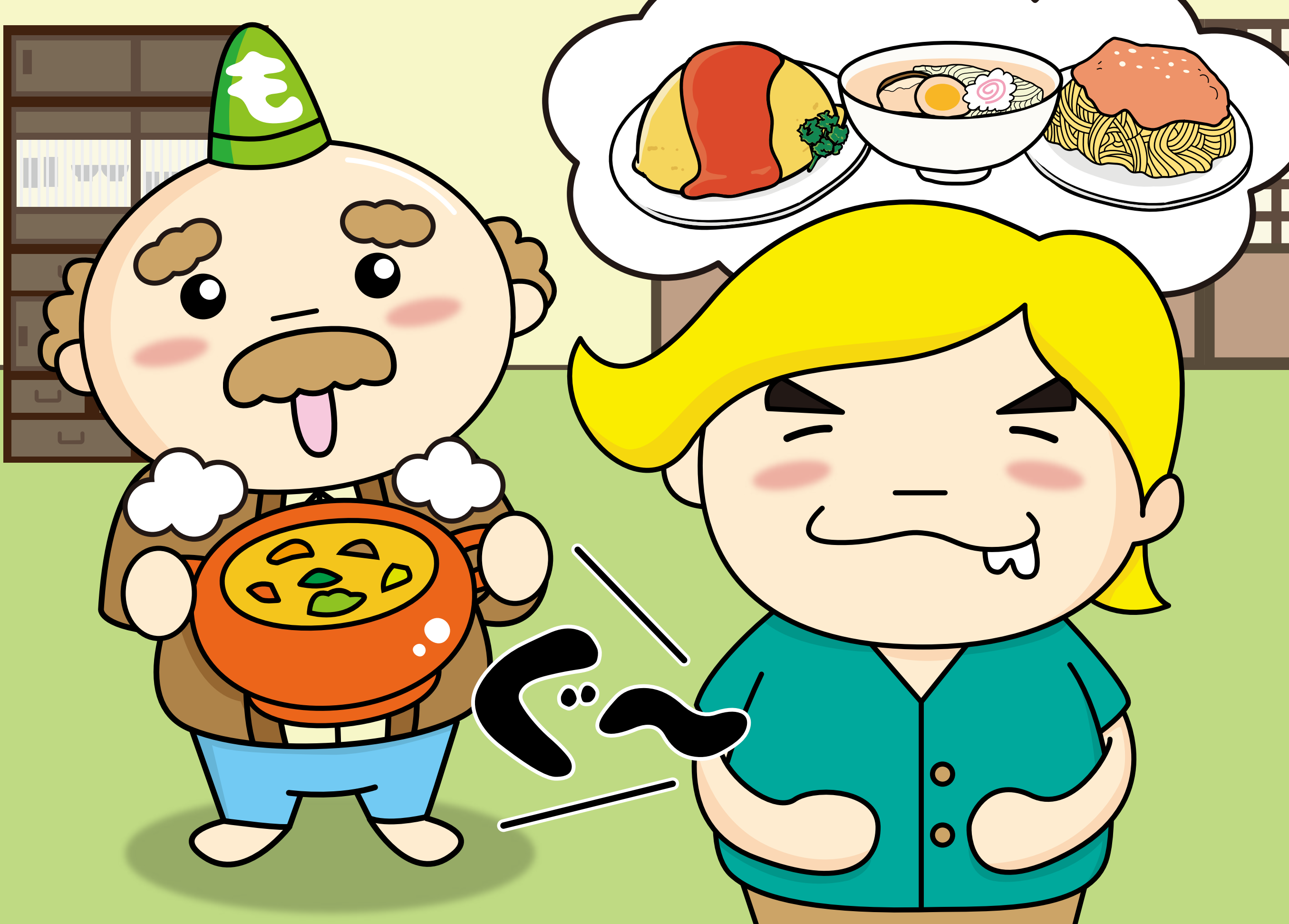
食べることにしました。

ぬく

演出の
ポイント

元気よく

残念な感じで





語り

王子

語り

村長

(6)

ゴクゴクゴク

ふうう！ごちそうさま。

なんと王子様はスープだけ飲んで
嫌いな野菜を残してしまいました。

わたし いっしょうけんめいつく
私が一生懸命作った野菜たちが…。
栄養たっぷりなのに…。

ああ・・・もったいない！

ぬきながら

その時です。

スープを飲む音

演出の
ポイント

悲しい感じで





(7)

語り

「ゴゴゴゴゴ」と
大きな音が聞こえてきました。

イナイ
ターモ

だれだ！野菜を残したのは！
好きなものばかり食べたのは、だれだー

語り

王子様は思い出しました。
ここではもつたいない事をする
と
怪獣イナイターモが追いかけて来る事。
王子様は、必死に逃げました。
それでも後ろから「バッサバッサ」と
大きな音が聞こえます。

イナイ
ターモ

王子

もつたいない事をしたのは、おまえだなー
もうもつたいないことはしません！

語り

すると、足元にポツカリと大きな穴が開いて
王子様はその穴に落ちてしまいました。

王子

うわー

ぬく

地割れの様な音

演出の
ポイント

怒っている感じで

怒っている感じで

謝っている感じで





語り

王子

村長

語り

(8)

王子様が気がつくど、

そこは「もったいない村」の入口でした。

そして目の前には

モッタ村長が立っていました。

あれ？僕は穴に落ちたんじゃ・・・？

「ほっほっほ」

そんな所で寝ていたら風邪を引きますよ。

見ればお困りのようじゃ。

どうぞ家にいらしゃい。

モッタ村長は、にっこり笑って、

王子様を「また」家に案内したのでした。

ぬく

演出の
ポイント

少し間をおいて





語り

(9)

その夜、王子様は「また」お腹が
減ってきたので、スープを一杯貰いました。
スープの中には
やっぱり嫌いな野菜が入っていました。
今度は、勇気をふりしぼって「えいっ」と
野菜スープを食べてみました。

ごくごく

むしゃむしゃ

ごっくん！

ぬく

演出の
ポイント

スープを食べる音





王子

語り

王子

村長

語り

(10)

ん？おいしい！

おうじさま とくせい やさい
王子様は特製の野菜スープを
残さず食べました。

おい
こんな美味しいものを残していたなんて、
なんてもったいない事をしていたんだ！

い
そう言ってくれと、
つく わたし
作った私もうれしいです。

そんちよう おうじさま み
モツタ村長は王子様を見てニコニコ笑顔。
それを見た王子様もなんだか嬉しくなつて
えがお
「にっこり」笑顔になりました。

すると、「グニャ、モアモアモアモア」

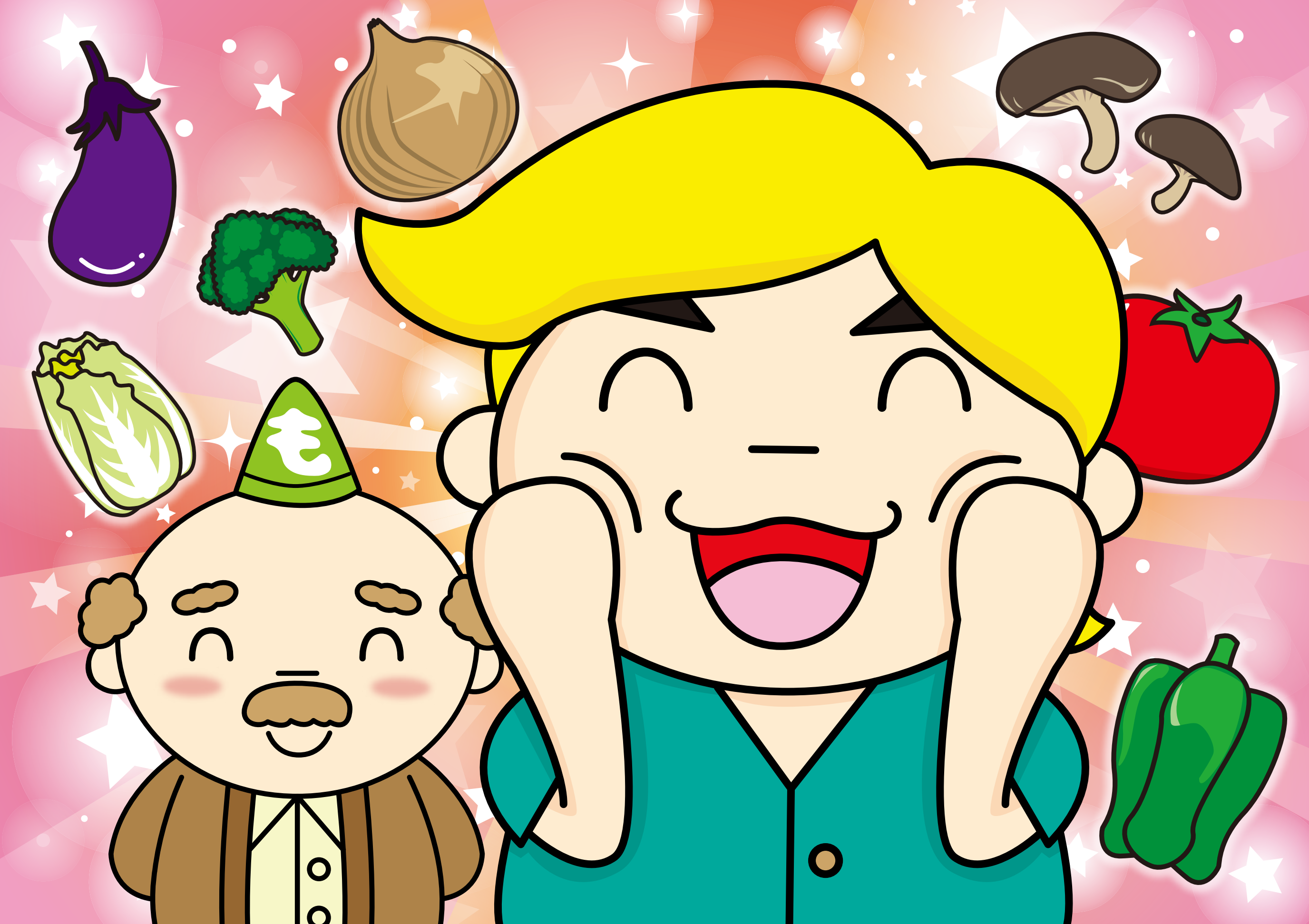
ぬく

驚いたように

演出の
ポイント

うれしそうに

魔法が解けます





語り

王子

村長

王子

語り

仙人

語り

(11)

まわ けしき むら しろ
 周りの景色が村からお城へと
 か 変わっていったのです。

あれ？ここはお城？

どうですか？旅の方？

これから残さず食べますか？

うん！野菜は美味しかった！

これからは嫌いなものでも食べてみるよ。

するとモツタ村長は、

のこしま仙人に姿を変えたのです。

のこしま仙人はにっこり笑って

「ほっほっほ！」

いい心がけじゃ！

これから「もったいない」事をすると
 か い 怪獣イナイターモが来るからの

そう言って、

のこしま仙人は空に飛んで行きました。

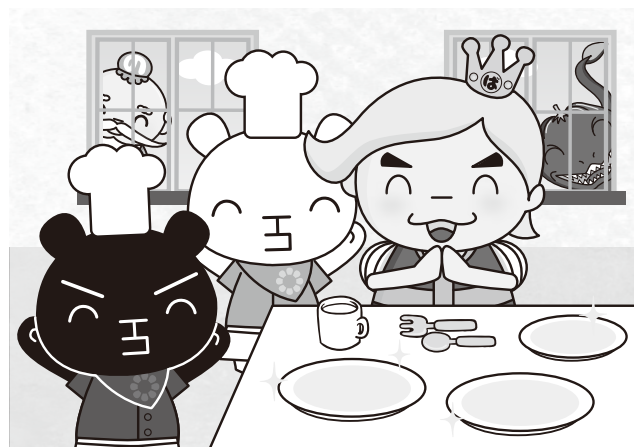
ぬく

演出の
ポイント

驚いたように

村長と同じ
笑い方で





語り

(12)

それからというもの

ばかり王子は、

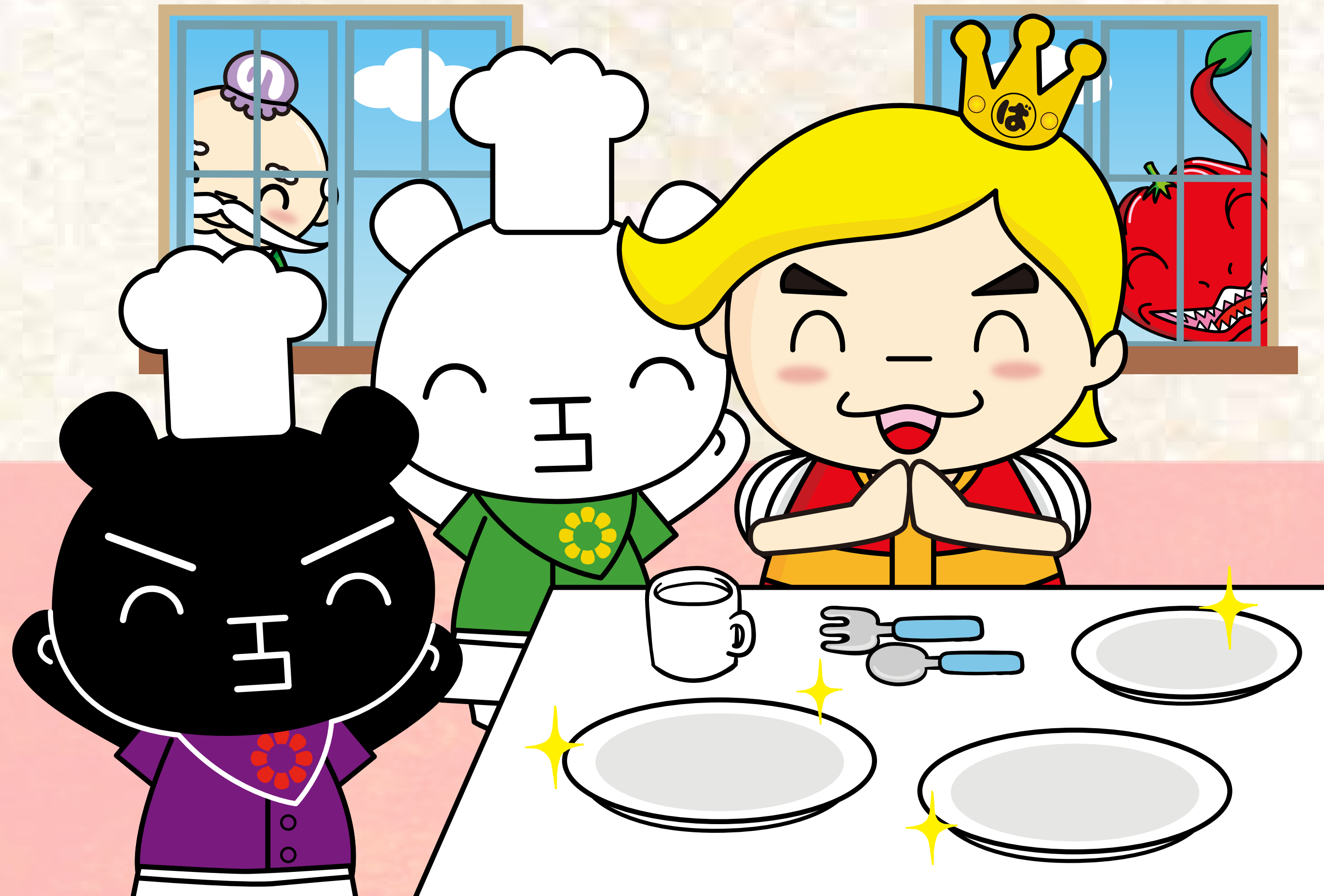
おうじ

出された料理は残さず食^たべて、

立派な王様になりましたとき。

りっぱ おうさま

おしまい





王子

語り

(1)

ばっかり王子とのごしま仙人

作・北九州市

あるところに好き^すなものばかり食^たべている
「ばっかり王子^{おっじ}」という王子様^{おっじさま}がいました。

今日は、ハンバーグとカレーとエビフライ。
あとは・・・から揚げも食^たべたいな。

ぬく

演出の
ポイント

少し迷った
感じで